

景真之階二十及敷屋花園公草淺

(報畫災震大部帝)



大正十二年九月二十日午前十一時五十八分關東地方未嘗有之大震起、地震烈多生じ、房屋倒壊、東京市内八十餘箇所より火災起、一面火の海、虎と水道、断水、風勢も猛烈にして消防に衝き、焼失家屋三十六万余戸、死者七八万余、負傷者其數甚し難く、本所方面の避難者、安全地、逃れんとせしも、各據隊海と交通社、其多敷、石原所方面の廣場、避難せしに一陣の旋風、柱火の渦を巻、あつ群衆の頭上、落下し、激まき、荷物の時、益火せし、為る、焼死者出、最も、甚大の場所也。

焼失戸數三万六千二百六十二戸、焼失区内、芝、麹町、神田、日本橋、京橋、赤坂、下谷、浅草、本所、深川、一、大島町、一、都

大正十二年九月二十日印刷
今年九月廿日發行

發行所 公所
東京市淺草區本町四丁目
浦野銀次郎
浦野堂西局
電話三三三三番